

石材店からみなさまへ

災害時の心得と提案 ～石の安全、あなたの命を守るために～

✓ 災害が起こる前にできること

🔧 石の建造物は事前点検を

- ・お墓、灯籠、石像などは耐震対策を：石材店に相談し、平時に耐震補強工事を検討しましょう。
- ・石と石の接合は経年劣化します：お墓参りの際に目地の状態を確認し、異常があれば石材店へ相談。
- ・倒れやすい形状に注意：上部が重い灯籠などは、基礎や接合の確認を平時に行いましょう。

🗺️ 避難ルートを確認

- ・家や職場からの避難経路（県道・市道・一般道など）に、危険な石造物がないかを事前に把握しておくことが重要です。
- ・指定避難場所に石造物があれば平時に点検し、異常があれば管理者に報告し、改善を促しましょう。

📷 写真で備える

- ・水害や地震で石が流されたり倒れた場合に備え、石造物の写真を残しておきましょう。

✓ 災害発生時に気をつけること

🚫 石に「近づかない・支えない・触らない」

- ・墓石、鳥居、灯籠などの石造物には、絶対に近づかないこと。
- ・倒れた石の下の物を一人で取らない。専門家に任せること。
- ・崩れかけの石は人の力では支えられません。すぐにその場を離れること。

⚠️ 地形・構造に注意

- ・石垣や石積みは、地震や豪雨、地すべりなどで崩れる恐れがあります。
- ・山間地の墓地では地滑り、川や海のそばでは鉄砲水・津波の危険性あり。災害時には立ち入らないこと。
- ・落石や火災時も、石は破裂することがあるため近づかないこと。

📞 石材に関することは地域の石材店へ

お墓や石造物の点検・補強・修理・災害後の対応など、石のことは石の専門家へ。

備えあれば憂いなし。「石の特性」と「日頃の点検」で、あなたと家族の命を守る行動を。

（一社）日本石材産業協会の
加盟店一覧はコチラから ▶



■ Going forward

これから

知ろう、活かそう、守っていこう。
「自然災害伝承碑」

自然災害伝承碑（国土交通省 国土地理院の管理）※とは、過去に発生した自然災害（洪水、土砂災害、高潮、地震、津波、火山災害等）の様相や被害状況等が記載されている石碑やモニュメントのことです。これらの碑は被災場所に建てられていることも多く、過去にその土地でどんな災害が起こったかを知ることができます。

日本は昔から自然災害が数多く発生し、その災害記録を残した自然災害伝承碑は全国に点在していますが、一般に認識されているとは言えません。

一般社団法人日本石材産業協会は全国にある石碑を調査し、その重要性を行政に働きかけながら石碑と石に刻まれた記憶を広く周知することで、皆様の防災意識向上へ繋げる一助にしたいと思っております。自然災害伝承碑に関わる活動は、これまでお墓や記念碑等の石材建造物を生業としてきた私たちにとって、価値あるものの認識を深め、その価値を守って行くことの大切さを強く感じさせてくれます。

わたしたちは先人の経験と教訓から学び、風化させることなく後世に繋いでいくことで、大切な命を守り、命をつなぐことになると強く信じています。これからも広く社会に貢献していきます。

※<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>



石を愛するコミュニティ



一般社団法人
日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel.03-3251-7671 Fax.03-3251-7681
<https://www.japan-stone.org/>

私たちの活動① 自然災害被災地の支援

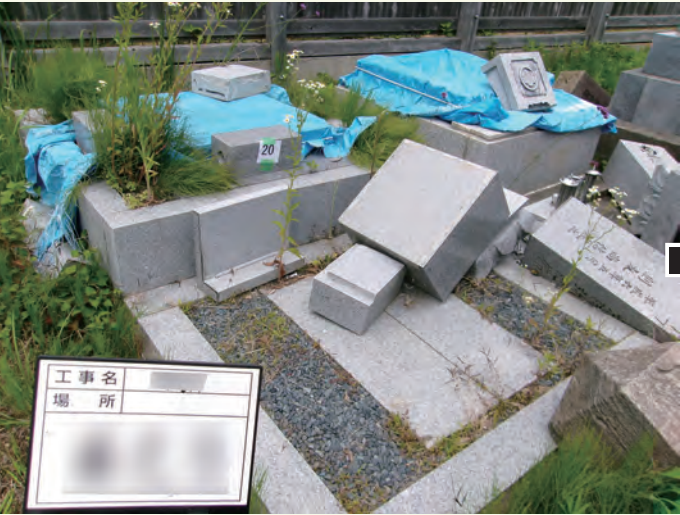


大地震により墓石が倒壊して通路をふさぎ、お墓参りは危険な状況で、堂は半壊、鐘楼堂は全壊の状況でした（左）。全国各地の支援者が特殊な機械を持ち込み、安心してお墓参りができるように墓石を整理しました（右）。※石川県七尾市内寺院にて、令和6年能登半島地震における支援活動の例。全国各地で支援活動をしています

◎ 墓地・墓石の整理の仕方



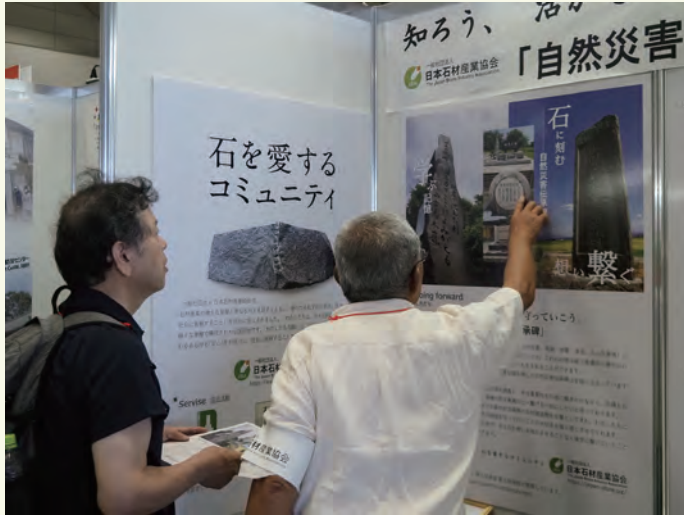
墓地の通路にある石を整理し、歩行できるようにします



ブルーシートを外し、石でご遺骨を覆います。竿石は正面に据え、礼拝ができる位置に移動します

◎表紙写真説明
【左】福光巡査殉職慰霊塔／災害発生日：1934年9月20日～21日、原因：室戸台風
【右】鳥取県西部地震記録碑／災害発生日2000年10月16日、原因：マグニチュード7.3の地震
【右下・左】千代川改修之碑／災害発生日：1918年9月14日、原因：台風による大洪水
【右下・右】追悼と記憶の碑 鳥取大地震／災害発生日：1943年9月10日、原因：マグニチュード7.2の地震

私たちの活動② 防災イベントに参加



「ぼうさいこくたい（防災推進国民大会）」や自治体の防災訓練に積極的に参加しています。業界として常に防災意識を持つとともに、一般の方々ともその意識を共有しています。

私たちの活動③ 人災や移設に伴う石工事



石造物は、残念ながら人災で崩壊することもあります。また敷地の整備等により、石造物を移動せざるを得ない場合もあります。私たちはそうした場合もお手伝いしています（左：国史跡・徳島藩主蜂須賀家墓所における五輪塔修復工事。右：徳島市国府小学校記念碑の移設工事）。

◎全国自治体等と協会の災害協定締結状況

- ・都道府県…9 ・市区町村…48
- ・宗教団体…3 ・その他…1

(2026年5月末現在)



山口県下関市との締結式にて

◎茨城県桜川市に「平和のモニュメント」

世界の平和を願って制作された「平和のモニュメント」。日本石材産業協会加工部会が国際交流事業として2024年10月、ブルガリアより彫刻家イヴァン・ストヤノフ氏を日本に招いて制作。石は茨城県産のやさしみかげを使用。大阪・関西万博（2025年4月から10月）のブルガリア館前に設置し、現在は茨城県桜川市の大和駅北公園にある。多くの人々に、平和のメッセージを発信している。

